

環境への取組み～企業経営者の立場から～

池田 治子（いけだ はるこ／株式会社エコトラック 代表取締役）

企業理念を掲げての設立

株式会社エコトラックは、平成11年3月に低公害車100%の運送会社として設立しました。設立時に掲げた企業理念は、「エコトラックは地球社会の一員としての自覚を持ち貨物運送における低公害車輛の普及を通して地球環境保全に取り組むことにより企業市民としての社会的貢献を果たします」です。弊社はこの企業理念に基づき、設立当初より、低公害トラック、中でも天然ガストラックの普及活動に、渾身の力を注いできました。

今回、環境力大賞というたいへん名誉ある賞を頂いたことを契機として、今一度原点に立ち返り、これまでの15年間の活動の意味をあらためて考察したいと思います。

最初の普及活動

具体的な普及活動の「最初の一歩」となったのは、近所の小学生の車輛見学の受け入れでした。それまで弊社は、天然ガストラックだけを使用する運送会社として、たびたびメディアで取り上げられ、雑誌や新聞に掲載されていました。その新聞記事を見た近所の小学校の先生が、子ども達を連れて見学させてほしいと言ってこられたのです。先生は子ども達と一緒に車輛を見て、排気ガス中のNO_xを測り、天然ガス車の環境優位性を実体験を通して学ばせておられました。

これだ、と思いました。これこそが本当の、環境学習であると。

以来、私どもは、実際に車輛を持って行って、展示や排気ガス実験を行うことに積極的に取組み始めました。



小中学校に天然ガストラックを持って行って行う環境出前授業は、大阪ガス株式会社の協力も得ながら積極的に実施し、120校を超える実績を残してきました。そしてこの環境授業だけでなく、市民祭りや各地の環境イベントなどありとあらゆるオファーに手弁当で出展し、とにかく天然ガス車の高い環境性能と、それを使用することにおける物流環境負荷の低減を、アピールしてきました。



周りの評価が好循環をつくる

普及活動を継続していく中で、ありがたいことに、さまざまところで高い評価を頂きました。平成12年に物流環境大賞「物流環境啓蒙賞」、平成14年に「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」など、多くの賞を頂き、その度に私達は天然ガストラックによる環境物流を広く紹介し、説明させていただく機会を頂戴しました。この発表の機会を得たことが、結果として次の活動への幅を広げ、さらなる普及啓蒙への取り組みへとつながり、その活動がまた一定の評価を得ることで、新たなステージで発言する場をいただける、という好循環を生むことがわかりました。



このことから、普及活動の内容そのものが社会の評価とマッチングしている場合、水面に波紋が広がるかのごとく、自然と拡散して流布していくものであると考えられました。最初に掲げた企業理念から活動がぶれなかったことが、この流れを作り出したのです。

企業における環境活動の意味

私達が普及活動を進めるとき、そこには、二つの異なる側面があります。一つは、エコトラックが、物流企業として、事業活動である物流の分野で環境負荷低減を図るという側面。そしてもう一つが、一企業市民として、次世代の子ども達へ、より美しい地球環境を引き継ぐためという思いです。

経済社会の中で生きる私達は、常にこの二つの側面を持ち、バランスをとりながらよりよい選択を続けていくことが必要だと考えます。

これまでの15年の間には、多くの取り組みを実施してきましたが、その根底にあるのは常に最初の企業理念であり、最初の子どもの車輪見学の記憶でした。これからのエコトラックに何ができるか、そしてそれを次世代にどのように引き継ぎ、より大きな波紋を拡げていけるのか。それを模索し続けることが、今の私達の使命だと考えています。

そしてそれが、全ての企業経営者に必要とされる、共通の最重要課題の一つであると言い切ることができたとしたら、答えは自ら見えてくるのではないのでしょうか。

